

バグダッド日誌(12月29日)

○ セレモニー

- ・ MNC-1情報部にて、情報資料の確認をしていると、「20分ですよ。」という声が聞こえた。顔をあげると、情報部のH2等軍曹(米軍:女性 ())共に、いろいろお世話になっている、1月帰国予定))だった。
- ・ 「何が、20分なんですか？」と聞くと、「20分後の1130から、3階でセレモニーがあるので来てください。私はもう行くので、庶務係のB軍曹(米軍:女性)と来て下さい。」と言い残し、消えてしまった。周囲のヨーロッパ将校に聞いても知らないと言う。)はどうやら、誘われたようだから行ってみれば。」と、関係ないといった感じである。チーフのM少佐(米軍)は米軍だから、知っているだろうと聞いてみると「知らない。」謎は深まっていった。
- ・ そうこうしている内に1125になった。B軍曹は席を立とうとしていた。一緒に行かなければ。と自分の席を立ちかけた時に、後ろのR大尉(エストニア)から、「この資料何だっけ？」と声がかかった。「それは、〇〇...」と話をしている内に、B軍曹は消えていた。
- ・ 急いで、3階に上がり会議室に行くが、誰もいない。「??」「どこで、何をやってるんだ。」周囲の人に聞くが誰も知らない。「本当にやってるのかな？」と考え始めた時、米軍の写真を思い出した。その写真では、行事を屋上で実施していた。急いで外を確認すると、屋上(空中回廊状になっている。)に米軍人が整列しているのが見えたので屋上へ急いだ。
- ・ 屋上に着いて見ると情報部長(米軍大佐)以下、15名くらいがちょうどセレモニーを始めたところだった。「何が始まるのだろう？」と私はまだ分かっていなかった。とりあえず神妙に気をつけをする。すると司会が「H2等軍曹、ジョイントサービスカメンデーションメダル」と言った。セレモニーは勲章の授与式だったのである。ちなみに、この勲章は統合勤務勲功章のことである。
- ・ H2等軍曹が前に出ると司会が「彼女は、情報部の勤務で〇〇...」と概要を読み上げ、大佐が勲章を彼女に着けてあげた。握手。写真撮影。当たり前だが報道等で見る米軍の行事そのものである。
- ・ 行事終了後、晴天下、周囲が遠くまで見渡せる屋上で「勲章授与だったんですね...。」とH2等軍曹に問いかけると、「私も1年イラクで勤務して1月には帰国します。日本の将校に立会してもらえ光栄です。」と答えてくれた。
- ・ ところで、何の脈絡もなく行事に参加した私に情報部長は「イイ天気デスネ!! ハハハハ」と日本語で話しかけ、上機嫌で帰っていった。「味な人」に私もなりた(※)。()

※ 注 ()は、既に十分「いい味」出してます。()



バスラLO日々業務報告(12月29日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 () (警戒態勢) : ()
2 特記事項	(1) () (2) ()
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : () (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	